

2022年度 美容科 教育課程(案)

区分	教育科目	履修科目名	1年				2年				合計				
			前期		後期		前期		後期		単位	時間			
			単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間					
必修科目 I	講義	関係法規・制度													
		衛生管理	衛生管理 I			1	30					1	30		
			衛生管理 II					1	30			1	30		
			衛生管理 III							1	30	1	30		
		保健	保健 I			1	30					1	30		
			保健 II					1	30			1	30		
			保健 III							1	30	1	30		
		化粧品化学	化粧品化学 I			1	30					1	30		
			化粧品化学 II					1	30			1	30		
		文化論	文化論 I	1	30							1	30		
	文化論 II								1	30	1	30			
	美容技術理論	美容技術理論 I	1	30							1	30			
		美容技術理論 II			1	30					1	30			
		美容技術理論 III					1	30			1	30			
		美容技術理論 IV							1	30	1	30			
		美容技術理論 V							1	30	1	30			
	運営管理	運営管理	1	30							1	30			
	実習	美容実習	美容実習(カット基礎)	1	30							1	30		
			美容実習(カット応用)					1	30			1	30		
			美容実習(パーマ基礎)			1	30					1	30		
			美容実習(パーマ応用)					1	30			1	30		
			美容実習(カラー基礎)			1	30					1	30		
			美容実習(カラー応用)					1	30			1	30		
			美容実習(ワインディング I)	3	90							3	90		
			美容実習(ワインディング II)			1	30					1	30		
			美容実習(ワインディング III)					1	30			1	30		
			美容実習(ウェーブ)			2	60					2	60		
			美容実習(トータルビューティ I)	1	30							1	30		
			美容実習(トータルビューティ II)			1	30					1	30		
			美容実習(メイク)	2	60							2	60		
			美容実習(ネイル)	2	60							2	60		
			美容実習(シャンプー・ヘッドスパ)	1	30							1	30		
			美容実習(ヘアアレンジ)	1	30							1	30		
美容実習(国家試験課題 カット)									2	60		2	60		
美容実習(国家試験課題 総合)									2	60	6	180	8	240	
必修科目 I 計			14	420	10	300	12	360	12	360	48	1,440			
選択科目	美容専門分野	講義実技実習研修	美容実習	美容総合(筆記試験対策 I)							2	60			
				美容総合(筆記試験対策 II)						1	30	1	30		
				美容総合(実技試験対策)								1	30	1	30
				ヘアケアマイスター					1	30			1	30	
				ヘアデザイン専攻 I(専攻授業)			2	60					2	60	
				ヘアデザイン専攻 II(専攻授業)					2	60			2	60	
				メイク・ブライダル専攻 I(専攻授業)			2	60					2	60	
				メイク・ブライダル専攻 II(専攻授業)					2	60			2	60	
				美容実習(コンテスト I)	1	30							1	30	
				美容実習(コンテスト II)					1	30			1	30	
				美容実習(サロンワーク I)	1	30	1	30					2	60	
				美容実習(サロンワーク II)					2	60			2	60	
				インターンシップ I			1	30					1	30	
				インターンシップ II					1	30			1	30	
	カラーコーディネート I			1	30					1	30				
	カラーコーディネート II					1	30			1	30				
	ビューティコーディネート I	1	30							1	30				
	ビューティコーディネート II			1	30					1	30				
	キャリア基	講義実技	キャリアデザイン	キャリアデザイン I			1	30					1	30	
				キャリアデザイン II			1	30					1	30	
ビジネス基礎力分野	講義実技	ビジネス能力	基本 IT 技術			1	30					1	30		
			プレゼンテーション			1	30					1	30		
			ビジネス文章力			1	30					1	30		
			ビジネス英語			1	30					1	30		
			イベントプロデュース			1	30			1	30		2	60	
ボランティア活動			1	30	1	30					2	60			
選択科目 計			3	90	16	480	11	330	5	150	35	1,050			
総計(必修 I + 選択)			17	510	26	780	23	690	17	510	83	2,490			

※単位:90分×15週の座学(授業)または実習をもって1単位とする。ただし、校外学習などこれによりがたい場合は別途換算する。

※科目履修(単位)認定の要件: 80%以上の出席 および 期末試験 60点以上

※卒業の要件: 必修科目48単位(1440時間)及び選択科目20単位(600時間)以上 計68単位(2040時間)以上の履修

科目名	文化論 I		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	日本のさまざまな髪型、化粧、服装の変遷流行を学び来るべき時代の要請に応じられるデザイナーになる。 社会貢献ができる美容業界を目指す。							
授業の一般目標	1. 美容師国家試験（文化論）合格レベルの知識習得 2. 風俗と時代背景とのつながりを読み解く 3. 髪型、化粧、服装とのトータルバランスを学ぶ							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容文化論 日本理容美容センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	総論	語義・現代社会・文化史の中の理容、美容、造形要素						
第2回	日本の理容業・美容業の歴史	理容業・美容業の誕生、時代背景に合わせた制度・法令						
第3回		総合学習						
第4回	ファッション文化史 日本編	縄文・弥生・古墳時代の髪型・化粧・服装						
第5回		古代（飛鳥・奈良・平安時代）の髪型・化粧・服装						
第6回		中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代）の髪型・化粧・服装						
第7回		近世Ⅰ（戦国末・安土桃山時代）の髪型・化粧・服装						
第8回		近世Ⅱ（江戸時代）の髪型・化粧・服装						
第9回		近世Ⅱ（江戸時代）の髪型・化粧・服装						
第10回		総合学習						
第11回		近代（明治・大正・昭和20年まで）の髪型・化粧・服装						
第12回		現代Ⅰ（1946年から1950年代）の髪型・化粧・服装						
第13回		現代Ⅱ（1960年代から1970年代）の髪型・化粧・服装						
第14回		現代Ⅲ（1980年代から1990年代）の髪型・化粧・服装 現代Ⅳ（2000年代以降）の髪型・化粧・服装						
第15回		総合学習						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D :59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容技術理論Ⅰ			単位数	1	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	-	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく。科学的根拠と系統だった理論を理解することにより、より良い技術と心を、お客様に提供できる美容師をめざす。							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 美容師国家試験（美容技術理論論）合格レベルの知識習得 現在の美容技術は薬剤の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。 							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 1 美容実習1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	序章 美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論と美容技術について 美容技術における作業姿勢 美容技術に必要な人体各部の名称						
第2回	1章 美容用具	美容用具の特徴、各部の名称、取り扱い方						
第3回		美容用具の選定法と手入れ法						
第4回	2章 シャンプーイング	シャンプーイングの目的、シャンプー剤の成分						
第5回		シャンプーイングの注意点・シャンプー技術の違い(バックシャンプーとサイドシャンプー)						
第6回		リンス・コンディショナー・トリートメントの種類と成分、目的						
第7回		スカルプトリートメントの目的、技術手順 頭皮のトラブル、ヘッドスパ						
第8回		総合学習						
第9回	3章 ヘアデザイン	錯覚現象・デザインの要素						
第10回		デザインの原理						
第11回	4章ヘアカッティング	ヘアカッティングの目的 美容刃物の材質						
第12回		ヘアカッティングの基礎理論 各技法によるヘアスタイルの構成						
第13回		シザーズによる各カット技法の特徴と違い、効果						
第14回		レザーによる各カット技法の特徴と違い、効果						
第15回		総合学習						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容技術理論Ⅱ			単位数	1	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	後期	教員実務経験対象	-	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく。科学的根拠と系統だった理論を理解することにより、より良い技術と心を、お客様に提供できる美容師をめざす。							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> 美容師国家試験（美容技術理論論）合格レベルの知識習得 現在の美容技術は薬剤の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。 							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 1 美容実習1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	パーマントウェーブの理論	ウェーブが形成される仕組み パーマ剤の種類・種類・注意事項						
第2回	パーマントウェーブ技術	毛髪診断、施術前に適さないシャンプー剤 ロッドの選定・配列 プレ処理（毛髪の状態をコンディショニング）、ワインディング						
第3回		1剤塗布、放置タイム テストカールで見る適正カールの状態、中間リンス						
第4回		2剤塗布、ロッドアウト、ブレーンリンス・アフターリンスの目的 ウェーブチェック、スタイリング						
第5回	ワインディングのバリエーション	ロッドの巻き方と・各種ロッドの種類と特徴 宿毛矯正						
第6回	ヘアセッティングとは	オリジナルセットとリセットの違い（基本的な要素）						
第7回	ヘアカーリング	カールの各部の名称と4つの分類 ステムの方向と角度の関係						
第8回		ループの大きさ、毛先の扱い方とウェーブ幅 カールピニングの種類と技術上の注意点						
第9回		各種カール技術の手順とピンをとったところの特徴						
第10回	ウェーピング	ヘアウェーブの名称 ウェーブをつくる方法と形状の分類						
第11回		ピンカールが作り出すウェーブ スキップウェーブ・ターンステムとは						
第12回	スタイリング	ローラーカーリング・ブロードライ・アイロンセッティング・アップスタイル・ウィッグ とヘアピース						
第13回	ヘアカラー剤	ヘアカラーの種類とタイプ別特徴 種類別の染毛メカニズム						
第14回	注意事項	色の基本、毛髪のレベルとアンダートーン 皮膚炎とパッチテスト、						
第15回	技術手順	毛髪診断と色の出方 技術手順						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容技術理論Ⅲ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		対象学生	2年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく。科学的根拠と系統だった理論を理解することにより、より良い技術と心を、お客様に提供できる美容師をめざす。							
授業の一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験（美容技術理論論）合格レベルの知識習得 ・現在の美容技術は薬剤の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。 							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 1 美容実習1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	エステティック	概論、歴史・目的・注意点、エステティシヤンの心得 皮膚の生理と構造						
第2回	カウンセリング	エステティックにおけるカウンセリング スキンチェック・肌質の種類と特徴						
第3回	マッサージ理論	基本手技(7種類)の目的、フェイシャルケアの効果・方法 フェイシャル及びデコルテマッサージ・パック						
第4回		ボディケアの種類と特徴 ボディマッサージ						
第5回	ネイル技術の概論、種類、爪の構造と機能	概論、さまざまなテクニック(3種類) 爪の構造と名称、爪のカット形状						
第6回	ネイル技術と公衆衛生公衆衛生	消毒方法と手順 カウンセリング(ネイルスタイルと爪の健康状態)						
第7回	ネイルケア	道具類の名称と使用目的 マニキュアとペディキュア技術の手順と内容						
第8回	アーティフェイシャルネイル	道具類の名称と使用目的 プレパレーションとグルー&フィラー技術の手順と内容						
第9回	手と足のマッサージ	マッサージの手順とポイント、目的						
第10回		総合学習						
第11回	メイクアップ概論	概論、顔の形態学的な観察 (プロポーション・骨格と筋肉・顔の立体感)						
第12回	メイクアップと色彩	皮膚の生理と構造	色の特性 表皮・真皮・皮下組織のはたらき					
第13回	メイクアップの道具	道具類の名称と使用目的、手入れ法						
第14回	スキンケア	スキンケア手順と目的						
第15回		総合学習						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					70	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習(カット基礎)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	wigを3～4台使用し、ベーシックカット～デザインカットの基礎までを理解する→最終日には作品提出を行い、ベーシックデザインを理解する。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 1 美容実習1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	ヘアカッティング基礎知識を知る	シザーズの持ち方開閉とカットの正しい姿勢				テキスト		
第2回	ヘアカッティング基礎知識を知る	カット技術の専門用語を学ぶ				テキスト		
第3回	wig①ワンレングスカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウイッグ①・テキスト		
第4回	wig①ワンレングスカット	前回の授業の復習。スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				ウイッグ①・テキスト		
第5回	wig①グラデーションカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウイッグ①・テキスト		
第6回	wig①グラデーションカット	前回の授業の復習。スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				ウイッグ①・テキスト		
第7回	wig①レイヤーカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウイッグ①・テキスト		
第8回	wig①レイヤーカット	前回の授業の復習。スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				ウイッグ①・テキスト		
第9回	wig②メンズカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウイッグ②・テキスト		
第10回	wig②セイルレイヤー	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウイッグ②・テキスト		
第11回	wig②セイルレイヤー	前回の授業の復習。スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				ウイッグ②・テキスト		
第12回	wig②ショートレイヤー	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウイッグ②・テキスト		
第13回	wig②ショートレイヤー	前回の授業の復習。スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				ウイッグ②・テキスト		
第14回	wig③作品作成①	履修内容を活かし自由に作品作成し提出(サロン・教員で審査)				ウイッグ③・テキスト		
第15回	wig③作品作成②	履修内容を活かし自由に作品作成し提出				ウイッグ③・テキスト		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	福井 純子		実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/				

科目名	美容実習(パーマ基礎)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	ベーシックパーマを理解する→カットスタイルに合わせたパーマ技術を施術できる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	美容技術理論 1 美容実習1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	パーマ技術の基礎知識を知る	ケミカルの基本・薬剤選定について						
第2回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	パーマバリエーション～縦巻き・横巻き・斜め巻き				ウィッグ①・テキスト		
第3回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	毛先巻き・中間巻き・逆巻き・スパイラル巻き						
第4回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	パーマバリエーション～縦巻き・平巻き・斜め巻き						
第5回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	毛先巻き・中間巻き・逆巻き・スパイラル巻き						
第6回	wig②前期で使用したショートレイヤーウィッグ	パーマバリエーション～縦巻き・平巻き・斜め巻き						
第7回	wig②前期で使用したショートレイヤーウィッグ	毛先巻き・中間巻き・逆巻き・スパイラル巻き				ウィッグ②・テキスト		
第8回	wig②前期で使用したショートレイヤーウィッグ	効果的な技法選定・施術						
第9回	wig②前期で使用したショートレイヤーウィッグ	効果的な技法選定・施術						
第10回	wig③前期作品作成で使用したデザインウィッグ	パーマバリエーション～縦巻き・平巻き・斜め巻き				ウィッグ③・テキスト		
第11回	wig③前期作品作成で使用したデザインウィッグ	効果的な技法選定・施術						
第12回	wig③前期作品作成で使用したデザインウィッグ	効果的な技法選定・施術						
第13回	wig④作品作成 I	カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す				ウィッグ④・テキスト		
第14回	wig④作品作成 II	カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す						
第15回	wig④作品作成 II	カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習(カラー基礎)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	後期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	ベーシックカラーを理解する→カットスタイルに合わせたカラー技術を施術できる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JHCAヘアカラー入門 ①ウィッグは美容実習カット基礎で使用したものを使う ②のウィッグは新品を使用する							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	カラー技術の基礎知識を知る	カラー塗布のバリエーション 薬剤選定・ブロッキング						
第2回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	グレイカラー・塗布手順・注意事項				ウィッグ①・テキスト		
第3回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	グレイカラー リタッチ塗布手順・注意事項						
第4回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	グレイカラーのワンメイク・塗布手順・注意事項						
第5回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	ファッションカラー・塗布の手順・注意事項						
第6回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	ファッションカラーのワンメイク・塗布手順・注意事項						
第7回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	ファッションカラー リタッチ塗布手順・注意事項						
第8回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	マニキュア塗布・注意事項						
第9回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	マニキュア塗布・リタッチ・注意事項						
第10回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	マニキュア塗布・フルカラー・注意事項						
第11回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	ハイスピード塗布・リタッチ・注意事項						
第12回	wig①前期で使用したレイヤーカットウィッグ	ハイスピード塗布・フルカラー・注意事項						
第13回	wig②作品作成 I	カットスタイルに合わせた効果的なカラー技術を施す				ウィッグ②・テキスト		
第14回	wig②作品作成 II	カットスタイルに合わせた効果的なカラー技術を施す						
第15回	wig②作品作成 II	カットスタイルに合わせた効果的なカラー技術を施す						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習(カラー応用)			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	デザインカラーを理解する→カットスタイルに合わせたカラー技術を施術できる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	①～④のウィッグはカット応用で使用したもの ⑤のウィッグは新しいものを使用する							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	カラー技術の応用知識を知る	カラーのバリエーション～薬剤選定・スタイルに合わせた技術						
第2回	wig①デザインカラー①の手技	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ①・テキスト	
第3回	wig①デザインカラー①の手技・復習	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第4回	wig①デザインカラー②の手技	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス						
第5回	wig①デザインカラー②の手技・復習	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第6回	wig②デザインカラー③の手技	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ②・テキスト	
第7回	wig②デザインカラー③の手技・復習	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第8回	wig②デザインカラー③の手技	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス						
第9回	wig②デザインカラー③の手技・復習	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第10回	wig③デザインカラー③の手技	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ③・テキスト	
第11回	wig③デザインカラー③の手技・復習	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第12回	wig③デザインカラー③の手技	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス						
第13回	wig③デザインカラー③の手技・復習	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第14回	wig④作品作成	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す					ウィッグ④・テキスト	
第15回	wig④作品作成	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す					技法選定・施術	
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習(ワインディングⅠ)		単位数	3	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ワインディング							
授業の一般目標	1. 美容師国家試験合格レベル・コンクールレベルの知識習得 2. ロッド使用しパーマの形成を理解する 3. 人間性の醸成							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	衛生と技術の解説 理容師美容師試験研修センター 美容実習1 美容技術理論1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回～2回	器具・用具について ブロッキング・上巻	器具・用具の名称理解・準備の方法を習得・コーミング & ブロッキング コーミング5分 & ブロッキングできる(5分)・上巻き技術						
第3回～6回	ブロッキング・上巻き・下巻き	ブロッキング(5分)・上巻き・下巻き技術 ブロッキング・上巻き・下巻き(センター18分)完成						
第7回	フロントについて	ブロッキング・上巻き・下巻き(センター18分)フロントのスライス						
第8回～9回	センターからフロント	センター～フロントを巻く センター～フロントを巻く(フロント3本のバランスに注意する)						
第10回～11回	角度スライスの確認	ブロッキング(5分)・全頭を巻く ブロッキング(5分)・全頭を巻く(巻残りに気をつける)						
第12回～15回	バックサイドのスライスの取り方	バックサイドのスライスの取り方の理解・巻き方練習(右) バックサイドのスライスの取り方の理解・巻き方練習(左)						
第16回	センター角度スライス	センターを角度の確認をし巻く						
第17回～25回	ワインディング全頭	ブロッキング(9ブロック・5分)・時間内に全頭を巻く ブロッキング(9ブロック・5分)・正しいスライス・角度で時間内に全頭を巻く				目標:50分～40分		
第26回～29回	ワインディング全頭	ブロッキング(9ブロック・5分)時間内に全頭を巻く・正しいスライス・角度・(オンベース・1/2オフベース)						
第30回～33回	ワインディング全頭 ①確認テスト	ブロッキング(9ブロック・5分)時間内に全頭を巻く・正しいスライス・角度・(オンベース・1/2オフベース) フロントのスライスを正しく ※見極めテスト(30分)				目標:30分		
第34回～38回	全頭の角度を把握・時間内の完成	ブロッキング(9ブロック・4分)全頭を巻く(30分)正しいスライス・角度・フロントのスライスを正しく・ラバー をねじらない・全体のバランス良く						
第39回	衛生の意義と用具類について	衛生の用具類について理解する 衛生と技術の解説DVD						
第40回～42回	衛生の準備について	衛生的に準備(7分)全頭・全体のバランスに気をつける 衛生的に準備(7分)全頭・全体のバランス・ラバー掛けを丁寧にする・おくれ毛を出さない				目標:29分		
第43回～44回	衛生準備、全頭の完成(正確さ・綺麗さ・速さ)	衛生的に準備(7分)全頭・1本25秒・ブロッキング(1分)				目標:28分		
第45回～47回	衛生準備、全頭の完成(正確さ・綺麗さ・速さ)	全頭・1本25秒・ブロッキング(1分)・衛生に気を付ける 衛生的に準備(7分)全頭26分(目標)・1本25秒・ブロッキング(1分)衛生区分(消毒済・使用中)				目標:27分		
第48回～51回	衛生準備、全頭の完成(正確さ・綺麗さ・速さ) ②確認テスト	衛生的に準備(7分)全頭25分・1本24秒・ ブロッキング(1分)衛生区分をする ※見極めテスト(25分)・復習				目標:25分		
第52回～53回	全頭の時間配分と時間内完成(正確さ・綺麗さ20分)	準備(7分)センター(6分)・フロント～右サイド(7.5分)左サイド(6.5分) 準備(7分)センター(6分)・フロント～右サイド(7.5分)左サイド(6.5分)通し全頭(20分)						
第54回～57回	期末試験対策 国家試験審査に準じた作品作成	準備(7分)全頭20分×3・全体のバランスと時間配分を考える						
第58回～60回	国家試験合格レベルで作品を仕上げられる	準備(7分)全頭20分×3・構成に注意して巻く(フロントの配列) 衛生準備(7分)・全頭20分～ふき取り作業まで×3回 ※全頭20分で作品を仕上げ衛生面に配慮できる				目標:20分		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		100	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習(ワインディングⅡ)			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年生	開設期	通期	
区分	必修			開設時期	前後期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ワインディング (国家課題Ⅰ)							
授業の一般目標	1. 美容師国家試験合格レベル・コンクールレベルの知識習得 2. ロッド使用しパーマの形成を理解する 3. 人間性の醸成							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	衛生と技術の解説 理容師美容師試験研修センター 美容実習1 美容技術理論1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	実力確認テスト (何分で仕上げられるか)	自己ベストタイムを確認する					タイム計測	
第2回	実力確認テスト (ブロッキングとロットの配置)	正確なブロッキングが出来ているのか確認してもらう。ロッドの配置(パネルの方向性、ステム角度、号数)は正確かを確認してもらう					タイム計測無し	
第3回	難点部分の技術強化	姿勢・立ち位置、道具類の使い方を再確認し、意識しながら作業をする					タイム計測無し	
第4回		スライス線を、美しく・正確に取れているのかを再確認し、作業する						
第5回	実力確認テスト (20分で正確に)	難点部分を改善し、目標タイムに入る					タイム計測	
第6回		難点部分を改善しつつ、自己タイムを縮める						
第7回		難点部分を改善し、目標タイム(20分)に入る						
第8回	美しい、コンクールを意識した作品完成	難点部分を改善しつつ、自己タイムを縮める					タイム計測	
第9回		毛幅、面(つや)、ゴムのねじれ、バランス、つながり、おくれ毛を意識する						
第10回		目標タイムを設定し美しく、正確に仕上げる						
第11回		目標タイムを設定し美しく、正確に仕上げる						
第12回	実力確認テスト (20分で正確に美しく)	正確に美しく仕上げ、手直しタイム2分込みで、目標タイムに入る					タイム計測20分以内	
第13回	技術の定着	改善点を向上する技術を定着、タイム計測時も安定した技術を発揮する						
第14回								
第15回	実力確認テスト (20分で正確に美しく)	正確に美しく仕上げ、手直しタイム2分込みで、目標タイムに入る					タイム計測20分以内	
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		100	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習(メイク)		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	JMA3級資格取得のためのベーシックメイク、を身に付ける							
授業の一般目標	JMA3級資格取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高める事ができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考える事ができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容	備 考					
第1回	授業の進め方・道具のチェック&手入れ法	授業を受ける際の注意事項・道具の点検と道具の手入れ方法						
第2回	道具の置き方・身だしなみ・ポイントメイクデモ	セッティングや身だしなみ、セルフメイクの仕方						
第3回	ポイントクレンジングデモ・相モデル練習	ウイッグを使ったポイントクレンジングの練習と相モデル練習						
第4回	全体クレンジングデモ・相モデル練習	ウイッグを使った全体クレンジングの練習と相モデル練習						
第5回	クレンジング復習・クレンジング相モデル練習	ウイッグを使った全体クレンジングの復習&相モデル練習						
第6回	化粧水デモ・化粧水相モデル練習	化粧水の相モデル練習						
第7回	ポイントメイククレンジング～化粧水相モデル練習	相モデルにてレッスン						
第8回	プライマーデモ・相モデル練習	プライマー相モデル練習						
第9回	ポイントクレンジング～プライマー相モデル練習	スキンケア総復習相モデル練習						
第10回	コントロールカラーデモ・相モデル練習	コントロールカラーのつけ方と相モデル練習						
第11回	スキンケア～コントロールカラー・ファンデデモ	スキンケア～コントロールカラー相モデル練習など						
第12回	ファンデーション相モデル練習	ファンデーションのつけ相モデル練習						
第13回	スキンケア～ファンデ・コンシーラーデモ	スキンケア～ファンデ相モデル練習・カバーの仕方						
第14回	コンシーラー相モデル練習	それぞれに合ったコンシーラー相モデル練習						
第15回	スキンケア～コンシーラー・フェイスパウダーデモ	スキンケア～コンシーラー相モデル練習・パウダーの仕方						
第16回	フェイスパウダー相モデル練習	フェイスパウダーのつけ方相モデル練習						
第17回	スキンケア～フェイスパウダー	スキンケア～フェイスパウダー相モデル練習						
第18回	ハイライト・ローライト・ニュアンスデモ&練習	ハイライト・ローライト・ニュアンスの相モデル練習						
第19回	スキンケア～ベースメイク完成(3級模擬試験)	スキンケア～ベースメイクの模擬試験						
第20回	アイブロウデモ・アイブロウ相モデル練習	それぞれに合ったアイブロウの描き方相モデル練習						
第21回	スキンケア～アイブロウ・アイメイクデモ	スキンケア～アイブロウ相モデル練習・アイメイクの仕方						
第22回	アイメイク相モデル練習	それぞれに合ったアイメイクの相モデル練習						
第23回	スキンケア～アイメイク・リップデモ	スキンケア～アイメイク相モデル練習・リップのいれ方						
第24回	リップ相モデル練習	それぞれに合ったリップのつけ方練習						
第25回	スキンケア～リップ・チークデモ	スキンケア～リップ相モデル練習・チークのいれ方						
第26回	チーク相モデル練習	チークを入れてフルメイク完成相モデル練習						
第27回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2・3級検定対策						
第28回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2・3級検定対策						
第29回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2・3級検定対策						
第30回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2・3級検定対策						
成績評価方法								
単位認定 学内試験60点以上、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			

科目名	美容実習(シャンプー・ヘッドスパ)		単位数	1	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	必修		開設時期	前期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	現場に必要な頭皮理論、ヘッド・スパ技法の習得、及びコンサルテーション能力向上を目指す							
授業の一般目標	頭皮理論とスパシャンプー、クレンジング、リフトアップメソッドの習得。不調の原因、解消法など応対話法の習得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	資生堂ヘッドスパテキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回-2回	シャンプーを知る	シャンプー準備・シャワーの使い方・マッサージ理論						
第3回-4回	シャンプーを知る	シャンプー工程を覚える・効果的なマッサージトレーニング						
第5回-6回	頭皮ケア理論 グロースメソッド・テクニク①	デトックス(スキャルプ) マッサージトレーニングを行う						
第7回-8回	テクニク②	リフトアップ(頭皮とリンパ) マッサージトレーニングを行う						
第9回-10回	テクニクまとめ	前回迄の技術を一連の流れで行う						
第11回-12回	理論・マッサージ技術検定	前回迄の技術を一連の流れで行う				資生堂ディプロマ取得		
第13回-14回	コンサルテーション理論	筆記、技術に関するチェックテストを受験する						
第15回	コンサルテーション実習	コンサルテーションについて、実際に実習する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	福井 純子			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/			